



## スズメバチトラップ作戦展開中!

毎年、多くの死傷者を出す恐ろしいスズメバチ。昨年の秋、比奈知ダムでも貯水池周辺や、ダム下流親水公園周辺でスズメバチの巣が多数確認され、業者に依頼して駆除しました。このままでは、今年もスズメバチが…。そこで5月13日、比奈知ダム職員自らがスズメバチトラップを手作りし設置してみました。



材料はこれだけ!

### ☆ ハチトラップの作り方 ☆

#### 【材料】

空のペットボトル…2と3/4本

エサとして {  
★お酒…180cc (焼酎、ビールでも可)  
★お酢…30cc  
★砂糖…50g (ハチミツでも可)

#### 【作り方】

空のペットボトルの上部4カ所に縦4cm横5cm位の長方形の印をつけ、左右と下の辺に切り込みを入れて、上辺を外側に30°ほど折り曲げます。そこに、お酒、お酢、砂糖をよく混ぜたものを入れれば完成。

設置場所は、風通しの良い日陰等で2m位の高さ、子供や小動物に触れられることのない場所を選びます。比奈知ダムでは支柱を立てて8カ所に設置しました(右図)。1週間ほどでトラップの中にはたくさんのスズメバチが…!



驚きの効果!

スズメバチ  
ぎっしり!

6月4日、トラップの回収作業を行いました。その結果は…

**オオスズメバチ84匹、その他スズメバチ47匹**を採取できました。この時期に飛んでいるのは、ほとんどが女王バチだということで、スズメバチの巣131個を未然に防いだということに(?)。

#### ご注意を!

簡単なのに効果が目に見えるハチトラップ。お試しになる場合は、少しご注意を。

スズメバチの大半は冬には死んでしましますが、生き残った女王バチが冬眠から目覚めて活動を始めるのが5月から6月。この時期はまだ働きバチがいないので、女王バチ自ら巣を作り、エサの収集を行います。スズメバチトラップを設置するのはこの時期。女王バチ1匹捕まえることは、スズメバチの巣ひとつを駆除したのと同じです。しかし、この時期を過ぎて夏になると女王バチにかわって働きバチが増え始めます。トラップを仕掛けたままでは攻撃性の高い働きバチがどんどん集まってキケンです。また、女王バチは刺さないという噂がありますが、実際は刺すこともあります。そして、死んでいるハチの針も刺さります。トラップにかかったハチを処分する際にも、素手で触らないようにして、十分にお気をつけ下さい。



◎ この新聞は、『少しでも環境に優しくできることはないか』と考え、『できることからやってみよう!!』と、私達が取り組んでいることを自己啓発も兼ねて皆さまに紹介しています◎

